

## 理学療法 (PT: Physical Therapy)

### ○対象とするお子さん

- 運動発達(座る、ハイハイする、立つ、歩くなど)が遅れている。
- 身体がかたい・やわらかい・ぐらぐらしている。
- 抱きづらい、どう座らせたら良いか、どう姿勢を介助したら良いか、どのように遊んだら良いかわからない。
- 転びやすい、長時間座ってられない、階段の昇り降りが苦手など、運動・動作がぎこちない。
- 呼吸が苦しそう。痰が出しづらい。
- 関節が硬く変形が心配。
- 家庭や学校などで快適に学習や活動に参加するために装具を考えたい。

### ○理学療法で行っていること

- 発達が遅れている、寝返りや立ち上がり、移動が難しいお子さんに対し発達を促します。また、筋肉の緊張を整える、関節を動かしやすくする、筋力をつける等の介入を行い、運動機能の向上や改善、変形の予防を図ります。また、呼吸が苦しそうなお子さん、痰の出しづらいお子さんに対して、快適な呼吸を目指し介入します。
- 日常生活上で困っていることに対して、お子さんとご家族の方が無理なく、より楽に行える方法を提案します。また、より快適な生活を目指し、補装具や車椅子、座位保持装置等について、情報を提供し、医師や製作者と連携して製作をお手伝いします。
- 各ライフステージに合わせて、日常生活や学校生活で出来るようになってほしいことや、改善したいことに注目し、そのための準備や対応策について検討します。

乳児期:主に基本的な運動能力の発達支援と育児支援を行います。

幼児期:運動機能の獲得と向上、幼稚園等への参加、小学校入学に向けての準備を支援します。

学童期以降:二次障がいへの対応や機能低下と介助負担増に配慮した介入を行います。

そして関係機関とも連携し、地域生活への参加を支援します。

